

関東地区スペシャルオリンピックスで輝くアスリートたち(1) *Athletes shine in Kanto Plains Special Olympics*

November 20, 2023

By Airman 1st Class Alexandra Gracey
374th Airlift Wing Public Affairs

11月4日、横田ハイスクールで行われた「関東地区スペシャルオリンピックス」に、各地から選手とボランティアが集った。

関東地区スペシャルオリンピックスは、知的障害や身体障害を持つ人たちが、スポーツを通じながら社会参加を図り、新しい文化を体験する機会となっている。一日を通して、アスリートたちはコーチ、家族、チーム横田のボランティアの支援を受けながら、8種類の競技に挑んだ。

(写真1)横田基地で11月4日、儀仗隊の行進で始まった「関東地区スペシャルオリンピックス(KPSO)」の開会式。第44回関東地区スペシャルオリンピックスには、関東の各地から参加者とボランティアが集まった。



1

(写真2)開会式で、トーチに点火するアスリート。今年の大会には、アスリートやその家族、コーチなど250人以上が参加した。



2

(写真3)50メートル走を競うアスリートたち。

第44回「関東地区スペシャルオリンピックス」のテーマは「インクルージョン」。大会のプログラムマネージャーとボランティアは、競技や第374空輸航空団のホストとの交流を通じてアスリートたちが異なる文化に触れられる機会を設け、その実現に取り組んだ。



3

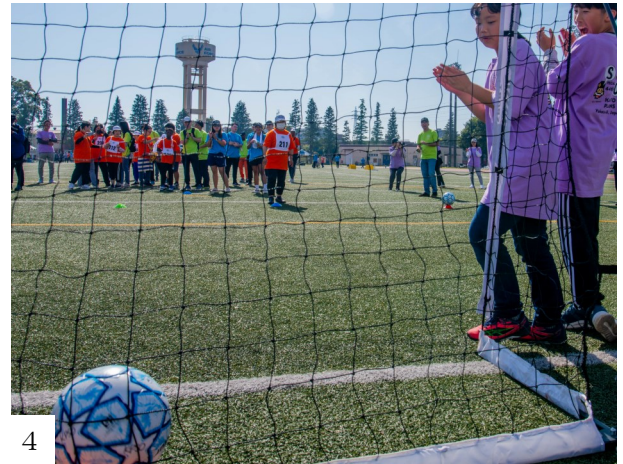
関東地区スペシャルオリンピックスで輝くアスリートたち(2) *Athletes shine in Kanto Plains Special Olympics*

November 13, 2023

By Airman 1st Class Alexandra Gracey
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4) 11月4日、横田基地で開催された「関東地区スペシャルオリンピックス(KPSO)」で、サッカーシュートを競うアスリートたち。

KPSOでは、他にもバスケットボール、水泳、ボウリング、ソフトボール投げなどの競技が行われた。



4

(写真5) 立ち幅跳びの競技に挑むアスリート。

「関東地区スペシャルオリンピックス」は、米空軍がホスト国の地元のコミュニティを支援し、良好な近隣関係を維持・強化する機会となっている。



5

(写真6) 100メートル走を走るアスリートたち。短距離走では、50メートル、100メートル、200メートル、400メートルの4種目が行われた。



6